

平成29年度 福岡県認知症医療センター 直方中村病院 活動報告
平成29年度筑豊地区 福岡県認知症医療センター合同専門職向け研修会

【開催日時】平成29年8月26日（土）14：30～17：05

【開催場所】福岡県立大学（田川市伊田4395）

【内 容】講演「ご存じですか～認知症の新たな取り組み」

○司会：医療法人社団 温故会 直方中村病院 事務課長 安部武俊 氏

○演題①「若年性認知症支援ハンドブックについて」

講師：福岡県保健医療介護部 高齢者地域包括ケア推進課 在宅介護予防係 係長 庄嶋 智 先生

○演題②「地域での普及活動」

講師：医療法人 唱和会 見立病院 精神保健福祉士 柴田 亜希 先生

○演題③「直方鞍手地区の認知症初期集中支援チームについて」

講師：医療法人社団 温故会 直方中村病院 精神保健福祉士 葉室 智隆 先生

特別講演

○座長：医療法人社団 豊永会 飯塚記念病院 精神保健福祉士 江頭 関巳 氏

○演題「認知症高齢者の看取りについて」

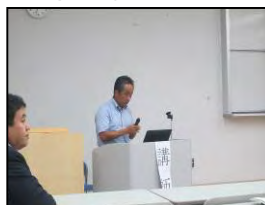
講師：久留米大学病院 高次脳疾患研究所 准教授 小路 純央 先生

【主 催】医療法人 唱和会 見立病院、医療法人社団 豊永会 飯塚記念病院、医療法人社団 温故会 直方中村病院

現在、筑豊地区は直方鞍手圏域を当院、飯塚圏域を飯塚記念病院、田川圏域を見立病院と担当しております。昨年度から開催に向け、協議を重ねてきました。そして、今回、筑豊地区の三センターが合同で開催することにより各圏域での取り組みを相互理解し、地域における認知症疾患の保健医療水準の向上を一層図ることを目的に開催することと致しました。

事前参加申込は187名でしたが、当日欠席・出席を含め参加者は181名でした。

演題①では、若年性認知症の全般的な現状と課題の話が、あり福岡県の取り組みの一つである若年性認知症の人やその家族との意見交流会の開催の報告、また、若年性認知症支援ハンドブックについての説明がありました。演題②では、地域での普及活動としての認知症出前講座、もの忘れ予防教室等の報告がありました。その取り組みを通じ、認知症についての知りたい内容（ニーズ）が変化しているということでした。演題③では、直方鞍手地区の認知症初期集中支援チーム（2市2町と当センターのチーム員で構成）の概要と実績及び事例報告がありました。



特別講演では、「老化とは」から始まり「認知症の人のケアの視点」、そして「看取り」の話まで幅広くありました。最後は、「認知症高齢者の終末期の意志決定とは？」と（私たち専門職は大切にしないといけない事柄ですが）難題を提示されと感じた参加者の方は多かったのではないのでしょうか。



アンケートは、140名の方から回答がございました。所属機関は医療機関・居宅介護支援事業所・地域包括支援センターの順に多く、訪問介護事業所・通所サービス事業所と少数ですが、幅広く回答をいただいております。また、職種においては介護支援専門員・看護師の順に多く、歯科衛生士・臨床心理士と少数ですが、こちらも幅広く回答をいただいております。講演や特別講演についての感想・意見は自由記述式での回答でした。大半の方が「参考になった」「業務に活かしていきたい」と記入されておりました。今後も専門職の方々に、より良い研修の機会を提供できたら、とアンケート集計をしながら感じました。

さいごに、ご参加いただいた方々は業務の時間を調整していただきまして、感謝申し上げます。また、開催にあたり協力をしていただきました見立病院・飯塚記念病院の事務局の方々にも感謝申し上げます。ありがとうございます。

（葉室）